

7月27日(土)ちよだ企業ボランティア連絡会のイベントとして岩本町ほほえみプラザにて納涼会を開催しました。当日は、ちよだ企業ボランティア連絡会の加盟企業から30名、学生や周辺企業のボランティア合わせて総勢〇〇名が参加しました。参加者全員で利用者の付き添いや介助、イベントコーナーとハンドマッサージコーナーの運営をしました。

特にハンドマッサージコーナーは好評で、施設利用者の皆さんの笑顔を見ることができました。また、イベントコーナーでは地域の子どもたちも多く足を運んでくださり、スイカ割りや射的などたいへん盛り上がりました。参加者の皆さんに喜んでいただき、私たちにとっても思い出深い一日となりました。



ちよだ企業ボランティア連絡会の会員企業の社員がブースの運営を行います。(左上)わたあめ (左下)ハンドマッサージ (右)スイカ割り

ちよだ企業ボランティア連絡会とは・・・

千代田区内の企業とその社員が、地域社会の一員として地域に貢献していくことを目的として定例会や協働プログラムを開催しているネットワークです。

ちよだ企業ボランティア連絡会のいいところ

- ① 顔の見える情報交換
- ② 社員参加のボランティア活動
- ③ NPO等との出会いの場
- ④ 区内企業同士や地域とのつながり

ボランティア 記者レポート

楽しみながら、しっかり学ぶ防災訓練 ～イザ!カエルキャラバン!の合同研修に参加して～

ボランティア記者 旭 勝臣

7月5日(金)19時から、アーツ千代田3331で、NPO法人プラス・アーツの主催で、親子で楽しめる活動訓練の合同研修が行われました。日本全国から集まった約50名の参加者が、数十種類もの子どもの防災活動訓練についての話を聞き、いくつかの訓練を体験しました。

写真は、災害時に役立つグッズを学ぶ「持ち出し品なあに?クイズ」です。これは、阪神・淡路大震災後の被災者へのアンケート調査により、持ち出しが必要と多くの方が回答したグッズなど12品目を、参加の子ども達に予め1分間見せて記憶してもらった後、それを伏せて、思い出して回答し

てもらうものです。場合によっては保護者も参加します。正解の数に応じて、地域通貨(カエルポイント)を、子どもにあげるというものです。子どもたちは、この通貨を集めて最後に、おもちゃの購入にあてます。(防災活動訓練に参加して、おもちゃに「カエル」ことになります。)

小さな子どもは、災害時要援護者として扱われてきましたが、これからは、子ども達にも、防災についての知識を身につけて、災害発生時には、助ける側になってもらう時代になりました。本年は、関東大震災発生90周年ということで、都内でも9月に墨田区や港区で、子どもの防災活動訓練が行われ

ます。「三つ子の魂百まで」とよく言われますが、小さいときに地震等の災害のことを知り、親子が一体となり、その対策の訓練をしておくことは大事なことと考えます。

(追記)写真は、7月21日(日)江東区木場公園で行われた、東京都公園協会主催による「わんぱく防災フェスタ」の「イザ!カエルキャラバン!」におけるものです。



持ち出し品なあに?クイズ(於 江東区木場公園)